

北海道大学大学院環境科学院 環境起学専攻  
実践環境科学コース

平成 30 年度 4 月入学大学院修士課程入学試験問題(春季入試)

専門科目

【開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません】

- この冊子は 3 頁ある。
- 1 問につき 1 枚の答案用紙を使用すること。
- 答案用紙の表に書ききれない場合は裏を使用すること。
- 答案用紙には科目名と問題番号を記入すること。

平成 30 年 2 月 28 日

# 小論文

小論文は2問ある。問1および問2に解答せよ。

## 問1

あなたが行ってみたい「**提案型インターンシップ**」の具体的な案を一つ考え、a)、b)、c)で指示された事項を中心に論理的に記述せよ。

- a) 提案型インターンシップの内容と目的
- b) 環境科学もしくは持続可能性としての意義
- c) 配慮すべきことや、予想される問題点および対処方法

なお、提案型インターンシップとは、あなたが**数ヶ月～半年間程度**かけて「持続可能な社会づくりにかかわる**企画を現場に提案し、議論を重ね、現場の人とともに実施する**」ものです。この提案を入学してから行う必要はありません。

**問 2** 下記の(2A)、(2B)のうち、1つを選択し、解答せよ。

(2A) 2015年国連総会で採択した「2030年までの持続可能な開発目標(SDGs)」では、多様な課題が17目標としてまとめられている(表1)。それらの目標には、(a)ミレニアム開発目標(MDGs)から扱われていた課題と、(b)それ以外の課題が含まれている。

- (i) 関連性がある(a)の課題と(b)の課題の組を2つ考え、組毎に、課題や課題間の関連性について、論理的に記述せよ(各組4-9行程度)。なお、課題が含まれる目標の番号を表1から選び明記すること。
- (ii) (i)の解答を引用することを含めて、SDGsのMDGsとの全体的な違いについて、論理的に記述せよ(5-12行程度)。

表 1: 2030年までの持続可能な開発目標(SDGs)の17目標

---

① 貧困をなくそう	⑩ 人や国の不平等をなくそう
② 飢餓をゼロに	⑪ 住み続けられるまちづくりを
③ すべての人に健康と福祉を	⑫ つくる責任 つかう責任
④ 質の高い教育をみんなに	⑬ 気候変動に具体的な対策を
⑤ ジェンダー平等を実現しよう	⑭ 海の豊かさを守ろう
⑥ 安全な水とトイレを世界中に	⑮ 陸の豊かさを守ろう
⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに	⑯ 平和と公正をすべての人に
⑧ 働きがいも 経済成長も	⑰ パートナーシップで目標を達成しよう
⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう	

---

**【次のページに続く】**

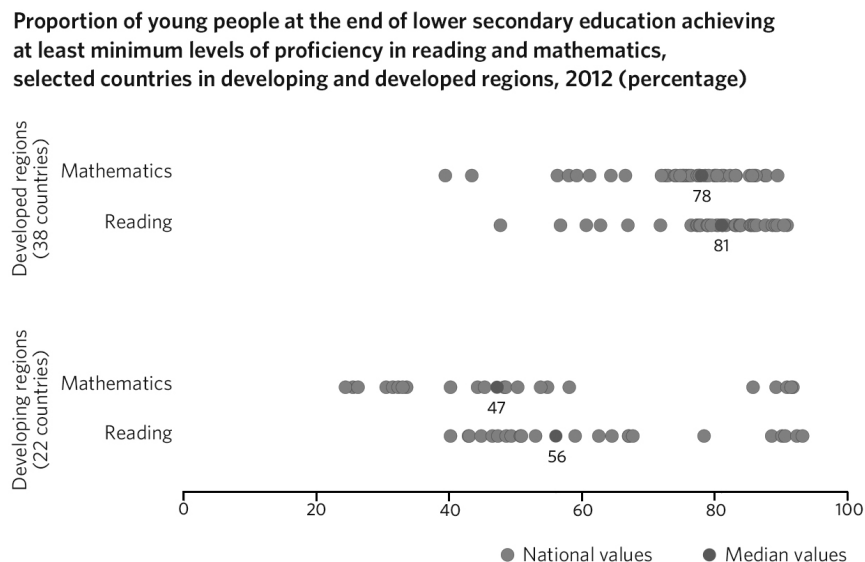
(2B) 初の SDGs に関する報告書“The Sustainable Development Goals Report 2016”では、進捗状況が国連統計局から提供されるデータ(指標)に基づいて報告されている。目標4「質の高い教育をみんなに」では、下に示した「グラフで示されたデータとそれに基づく文章」が記述されている。この記述に対する(i)(ii)(iii)について、あなたの解釈や考えを論理的に記述せよ((2B)全体で 13-30 行程度)。

- (i) 「グラフから読み取れること」と「文章の内容」の関係性について
- (ii) グラフで示されているパーセンテージから判断される Mathematics や Reading の難易度(難しさの程度)について
- (iii) 38ヶ国や 22ヶ国と限られた国で調査されていることについて

“The Sustainable Development Goals Report 2016”(UN, 2016)より

**Fundamental skills provide a solid foundation to young people for further learning throughout their life**

Quality education should lead to the acquisition of fundamental skills, such as literacy and numeracy, and higher level skills. The end of lower secondary school often coincides with the end of compulsory education. By this stage, students should be able to master subject-related knowledge and skills, possess personal and social skills and have a solid foundation for further learning throughout life. Data from 38 countries in the developed regions show that, in the majority of these countries, at least 75 per cent of young people achieved at least minimum proficiency in reading and/or mathematics; the same was true for only 5 of the 22 countries with data in developing regions.



Note: Data are based on nationally representative household surveys from 63 low- and middle-income countries between 2008 and 2012.

literacy:識字能力、 numeracy:計算能力、 proficiency:熟達・堪能、 compulsory education:義務教育  
household survey: 世帯調査

**【試験問題はここまで】**